第2回吹田市水道事業100年史等作成業務プロポーザル選定委員会議事概要

1 開催日時・場所

令和7年6月9日(月) 10時～11時
水道部庁舎第二別館2階 研修室

2 出席者

【委員】

水道部 部長(委員長)
水道部 次長
下水道部 次長
都市魅力部シティプロモーション推進室 室長
地域教育部文化財保護課 主任

【事務局】

水道部総務室

3 議題

- (1) プレゼンテーション及びヒアリング
- (2) 最優秀提案者の選定

4 配布資料

- (1) 次第
- (2) 提案書等
- (3) 吹田市水道事業100年史等作成業務プロポーザル審査評価項目

5 議事要旨

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

- ・事務局よりプレゼンテーション審査の流れについて説明
- ・提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施
(提案25分、ヒアリング20分)

(2) 最優秀提案事業者の選定

提案事業者は1者であり、見積価格が提案限度額を超えないこと、評価点数の平均が最低基準点の6割を上回っていることから、参加者番号1を最優秀提案事業者として選定した。

(主な質疑)

	委員からの質問	提案事業者の回答
1	他の事業体の年史と画一的にならない、吹田市らしさを出すための工夫は考えているか。	市長の水道界に対する熱い思いや考え、各浄水所のこだわりを持った浄水行程を伝えていくことで、吹田市らしさを持った年史になると考えている。
2	資料収集について、担当者が1名とあるが少なくないか。 吹田市独自の歴史についての資料収集方法についてどのように考えているか。	東京本社も含めて調査に当たる予定であり、人員体制は問題ない。 吹田市独自の資料としては、市議会議事録等が骨子になると考えているが、資料が少ない場合は吹田市のことを研究している図書館の司書や大学の先生等の協力をお願いすることも考えている。
3	動画作成について、ターゲット層はどのように考えているか。 ショート動画は年史動画のダイジェスト版となるか。	どういった場面で披露するかなど、協議して決めることになるが、現状では中学生以上の一般層が対象と考えている。また、パペットを使用した動画にすることで幼い子にも目に留まる内容となる。 ショート動画は100年史にちなんだ内容と考えている。WEB上で発信することになるため、クイズ形式にすることなどで、より広く見てもらえると考えている。
4	制作スケジュールについて、2年弱といった期間は適切か。	適当な期間と考えている。1年では、市との確認作業時間を考えると充分ではなく、3年以上では、市の担当者が人事異動等で変更となり、引継ぎがうまくいかないなどの懸念がある。
5	動画作成の体制はどのように考えているか。	年史作成と同一人物がディレクションし、社内にて構成等を含め作成する。 撮影は委託となる。
6	業務責任者実績書は誰の実績になるか。	管理責任者と担当者の実績を記載している。
7	ゼロから100年史を作成した実績はあるか。 本市では、昭和50年以前の資料が乏しいと考えるが、内容はどのように執筆するか。	ゼロから作成したものは複数あり、過去の資料が乏しい場合は、現在の事柄に焦点を当てて作成した。 近隣市の資料、日本水道協会の資料、統計資料、市議会議事録等を紐解いて、全体を把握してからでないといけない部分は正直ある。

8	提案のあった 100 周年のロゴ作成は、スケジュールの前半で作成、納品してもらうことは可能か。	可能。市で検討されているロゴがあるのであれば、それをリライトして、ロゴデータを納品することも可能。
---	---	---